



安全運航を常に意識し、  
責任感を持って業務に取り組める方  
チャレンジ意欲の旺盛な方  
柔軟な発想力と迅速な行動力のある方  
チームワークを大切にし、思いやりの気持ちを持っている方  
このような方には自らの考えやアイデアを主張し、  
実行できる最適な環境があります。

#### 職種

##### ●総合職

###### 事務系

財務経理・総務人事・経営戦略・営業・運航乗務員サポート業務  
空港カウンター業務・運航管理業務など

###### 技術系

整備技術・運航技術など  
※キャリアアップのため、現業業務を経験していただくこともあります。

###### 整備技術職

航空機整備業務および航空機整備関連業務など

##### ●客室乗務員

一般客室乗務員業務および客室関連業務(一般事務業務含む)

##### ●運航乗務員

運航乗務員【副操縦士(限定未保有)候補者】

先輩社員の働き方や仕事内容、より詳しい採用情報は、  
採用ホームページをご覧ください。



株式会社スターフライヤー 新卒採用サイト  
<https://www.starflyer.jp/recruit/>



#### お問合せ先

株式会社スターフライヤー  
総務人事部 採用担当

〒800-0306 北九州市小倉南区空港北町6番  
[recruit@starflyer.jp](mailto:recruit@starflyer.jp)

# Like a Dream.

感動体験を創りだそう。

STARFLYER  
RECRUITING



STARFLYER





目指すのは  
ビッグカンパニーではなく、  
グッドカンパニー。

私たちの理想は、  
夢のような飛行体験を提供することです。

座席間隔の広い草張りのシートがもたらす快適さや、  
一人ひとりに合わせたホスピタリティ高いサービス。  
こだわり抜いた空間を提供することに  
挑戦を積み重ねてきました。

そこに、他社では味わえない感動があるか。  
そこに、他社にはできない工夫があるか。

私たちはまだ700名あまりの会社ですが、  
お客様に感動していただけるよう、  
一人ひとりが自ら手を挙げ、創意工夫を凝らしていきます。  
そして、これからも航空会社の常識を覆し、  
高い品質でお客様からの信頼を獲得していきたい。

ビッグカンパニーではなく、グッドカンパニーとして。  
私たちとともに理想や夢を  
追いかけてくださる仲間を募集いたします。

## STARFLYER RECRUITING

挑戦と革新。  
次々と航空業界の常識を  
あたらしくしていきます。

### 大手航空会社ともLCCとも違う 独自のビジネスモデルを展開。

ライト兄弟の「フライヤー号」にちなんで名づけた社名は「スターフライヤー」。  
ライト兄弟の初飛行から100年目を迎えた2002年に誕生しました。「感動の  
あるエアライン」というコンセプトを掲げ、大手航空会社ともLCCとも違う独自の  
ビジネスモデルを確立してきました。これまで北九州-羽田線、福岡-羽田線、  
関西-羽田線、福岡-中部線、山口宇部-羽田線、2017年には北九州-那覇線に  
就航するまで成長することができました。2018年には冬季ダイヤより、国際定期  
路線に再参入します。北九州、福岡、名古屋から台北(台湾桃園)を1日1往復、  
同時就航する予定です。今後も新規路線開設を目指し、さまざまな角度から  
検討や就航に向けた準備を進めていきます。



### 人財の育成強化による、 成長戦略。

2018年3月には、就航から13年目を迎えるまだまだ若い会社でありながら、  
2011年12月には東証二部へ上場するなど、私たちは着実に歩みを進めてきました。  
その要となるのが人財育成。大手航空会社のように業務を細分化・分業化する  
ことなく、ジョブローテーションも活発に、幅広い経験を通して人財の持てる  
力を最大限に発揮しながら成長を図ってきました。与えられた仕事をこなすだけ  
でなく、仕事を自らの手で創造していく。これまでに培ってきた風土が、スター  
フライヤーの更なる飛躍を後押ししています。



国内航空業種で  
9年連続「顧客満足度No.1」  
を獲得。

「2017年度JCSI(日本版顧客満足度指数)調査」において、当社は、国内航空  
業種で9年連続「第1位」の評価をいただきました。これは、安全運航の堅持を  
大前提としつつ、全機個人用液晶モニター装備の本革シート、大手の国内線  
仕様より広い座席間隔、高品質・高付加価値サービスなど、最上級のホスピ  
タリティを追求した結果が、お客様の満足に結びついたものです。2017年度の  
調査結果では、6つの調査項目のうち、昨年に引き続き国内航空業種において  
「顧客満足」「知覚品質」「知覚価値」「推奨意向」「ロイヤルティ」の5項目で第1位を  
獲得することができました。

